

教育広報

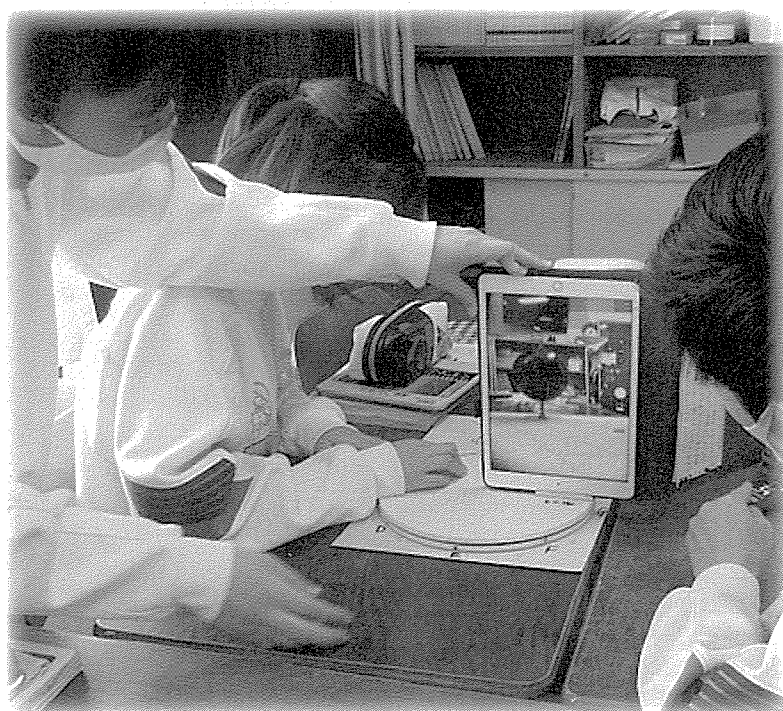
## いるま

第73号  
令和3年3月

題字：教育長 西 澤 泰 男  
 編集：教育広報いるま編集委員会  
 発行：入間市教育委員会学校教育課  
 電話 04-2964-1111(内 4145)  
 入間市教育委員会ホームページアドレス  
<http://www.city.iruma.saitama.jp/o/kyouikuinkai.html>

## タブレット端末1人1台の導入

学びが変わる→授業が変わる→学校が変わる

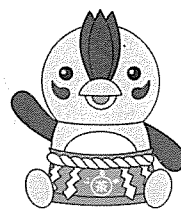


理科の授業 上藤沢中学校



社会の授業 新久小学校

これからの  
 学びのスタンダード  
 だね。



## 未来で活躍する子供達へ

本市では、国のGIGAスクール構想を受け、全児童生徒に1人1台のタブレット端末を導入しました。今、各学校では段階的にタブレットを使った授業が展開されています。

ネットワーク上で1人1人の考えをリアルタイムで共有でき、多様な意見に即時に触れることができるなど、子どもたちの学ぶ意欲を高め、深い学びにつながっています。

教職員の授業改善を図り「学びと実践のあふれるまち」の実現を目指していきます。

教育長 西澤 泰男

## 市長からの応援メッセージ

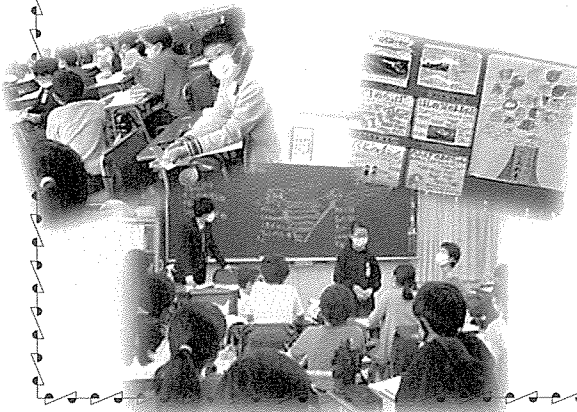
いるまっ子のみなさん、こんにちは。コロナの中で、工夫しながら頑張るみなさんの姿をみています。すでに何校か学校を訪問していますが、コロナの中での我慢をエネルギーに変え夢に向かって取り組んでいきましょう。入間市で1人1台のiPadを使った学習も少しずつ始まりました。入間市は皆さんの夢を全力で応援していきます。

入間市長 杉島 理一郎

# 令和2年度の研究委嘱発表校 =その1=

**豊岡小学校**  
特別の教科 道徳

『特別の教科 道徳』における自己マスタリーの育成  
～自分自身の生き方を究める～



**【主な取り組み】**

- 1 全学年による研究授業と、ブロックごとの研究協議会の実施
- 2 道徳アンケート（児童用・保護者用）の作成・実施・分析
- 3 掲示物と道徳コーナーの充実

今年度のテーマである「Listen & Talk」を意識して授業に取り組み、授業後も授業と実生活を結び付けて内容項目を考えている児童が多いことがアンケート結果からも読み取ることができました。次年度は、道徳科に留まらず、特別活動や他教科との関連を意識し、教育活動全体を意識した研究を進めていきます。

**東金子小学校**  
算数科

「目を輝かせ、生き生きと活動する児童の育成」  
～基礎・基本の定着を目指した算数科授業の工夫～

**【主な取り組み】**

- 1 授業の流れの統一（『見通し』のもたせ方の工夫・適用問題）
- 2 算数ノートの統一指導
- 3 学習環境の整備

授業の流れの統一により構造化が図られ、授業がわかりやすくなりました。ペア・グループで課題解決に向けての『見通し』をもたせることで児童は意欲的に取り組むようになりました。また、適用問題により学習内容の定着が図れました。確実な定着に向け、継続的な取り組みをする必要があります。



**金子小学校**  
特別の教科 道徳

こころゆたかな かねこの子 育成  
～考えよう よりよく生きるために～



**【主な取り組み】**

- 1 授業の充実（子供が考え活躍する授業・丁寧でわかりやすい指導）
- 2 日常活動の充実（教育活動全体で取り組む道徳教育・心を育てる環境づくり）
- 3 家庭との連携充実（保護者への啓発）

道徳ノート「こころノート」や授業のスタンダード「金子の道徳」の活用、心情円盤などの思考ツールの活用等によって、児童の考えが深まり、「考え、議論する道徳」へと近づきました。道徳科の授業を核にした道徳教育の取組の充実により、相手を思いやる優しい心が育ち、きまりや約束を守る意識が高まりました。



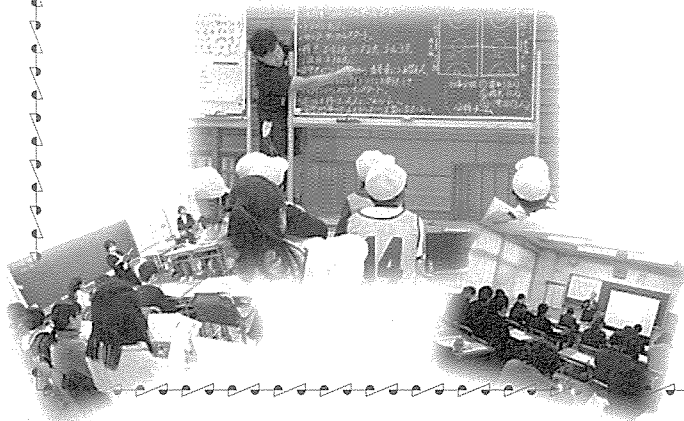
# =その2=

## 藤沢小学校

体育科・特別の教科 道徳

### 「心も体もたくましい児童の育成」

～学びの土台づくりと授業づくり～



#### 【主な取り組み】

- 1 体育科、道徳科実践の充実
- 2 学級力アンケートを活用した学級経営
- 3 ふじっこトライによる家庭との連携

体育科、道徳科の授業の充実、学級経営の安定、学習習慣、生活習慣の向上が図られたことによって、学力の向上が見られました。授業は今後もより一層の充実を図っていきます。また、学級力アンケートを発展させ、理想の学級集団づくりに役立てていきます。

## 西武小学校

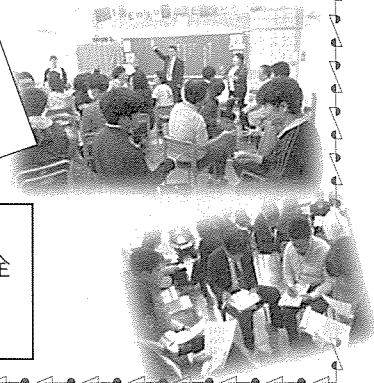
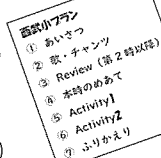
外国語科・外国語活動

### 児童も教師も、いきいきと活動できる授業づくり

～笑顔があふれる外国語科・外国語活動を目指して～

#### 【主な取り組み】

- 1 授業プランの統一（西武小モデル）
- 2 校内研修でのアクティビティ体験「Let's enjoy English time」の実施と、授業観察シートによる児童観察に基づく協議会の設定
- 3 西武小English day（放送委員会による毎週水曜日の英語放送）
- 4 家庭学習「ふらいでい」との連携（学習した語彙、表現、アルファベットの練習など）



西武小モデルのもと、全ての学年で外国語科・外国語活動の授業が行うことができました。「Let's enjoy English time」を行うことで、アクティビティの知識・経験の向上だけでなく、全職員で研修を進めて行こうという雰囲気が高まりました。今年度の研修で検討してきた外国語科・外国語活動西武小モデルの習熟を更に図っていきます。

## 仏子小学校

特別の教科 道徳

### 自らの力で未来を切り拓く、心豊かなぶしっ子の育成

～道徳の授業法・評価の研究を通して 自分の思いを伝え合える児童を育てる～



#### 【主な取り組み】

- 1 二分法・スケール法を中心とした授業の実践
- 2 指導観シート・ワークシートの活用
- 3 場面絵・掲示物の充実

二分法・スケール法を用いた授業が定着してきました。話し合いを深めるために、指導観シートを使って教材研究を行ったため、価値の吟味の仕方や、終末でのまとめ方などを工夫し、授業力を向上させることができました。今後も児童が自分の弱い部分と向き合い、道徳的価値を自分のものにしていくような授業を展開していきます。

# = その3 =

## 藤沢中学校 全教科

**「夢や希望に向かって、遅く生きる生徒の育成」**  
～自尊感情(自己有用感)を高める取組、実践を通して～



**【主な取組み】**

- 1 感染予防への工夫と学び合い
- 2 相互評価を様々な活動に導入
- 3 ボランティア活動を推奨
- 4 タブレットを授業に導入

コロナ禍の中、フェイスシールドの導入などから、新たな生活様式の中での学び合いや相互評価を進めてきました。加えて、工夫して行事を実施する中で、生徒と教師間の関係性が深まりました。今後も、現状の見直しから工夫改善、実践・評価につながるよう全校を挙げて取り組んでいきます。

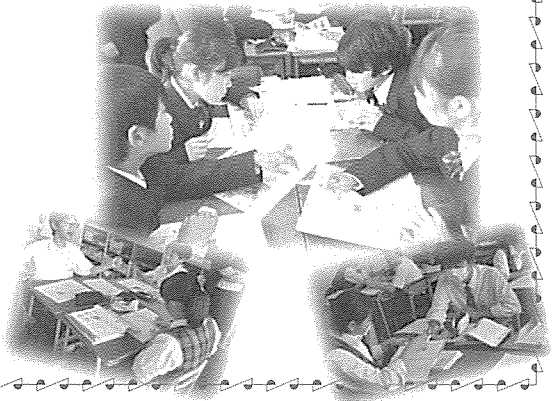
## 黒須中学校 全教科

**学び合いを通して、生きる力を育む授業の創造**  
～生徒一人一人の学びを保障する授業づくり～

**【主な取組み】**

- 1 県内外の先進校の視察
- 2 外部の講師を招いての授業研修会と共同学習についての理解
- 3 全教師が各学期1回以上の研究授業の実践と指導法の改善

授業中に学習しない生徒が学ぶようになりました。また分からない生徒が聴くことでわかるようになりました。分かる生徒が教えることで理解が深まり、お互いの考えを聴き合い自分の学びを深められました。今後は、決められた授業数の中で、「学び合い」学習の時間を確保すること、「教え合い」にならないよう、ジャンプの課題を設定することを研究していきます。



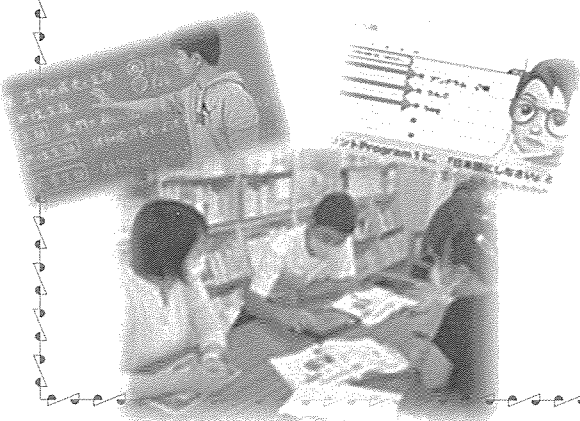
## 野田中学校 全教科

**豊かな人間関係の中で、主体的に学び合う生徒の育成**  
～ICTの活用をとおして～

**【主な取組み】**

- 1 学習支援サイトによる動画の配信
- 2 ICT環境の整備
- 3 協調学習へのICT機器の積極的利用
- 4 学校行事へのICT機器の積極的利用
- 5 校内研修の充実

本研究で行ってきたことが、GIGAスクール構想に向けた先行的な取組みにつながりました。授業の中では「意見を出しやすくなった」「今までよりもたくさんの人の意見を知り、比べることができた」という声も生徒からあがりました。今後、全生徒へのタブレット端末の導入に向けて研究を進めるとともに、本研究で培ったチームワークを大切にしていきます。



### ● 狭山小学校

進んで学ぶ児童の育成  
～学ぶ楽しさを引き出す  
授業の実践を目指して～



「わかる・できる・次もやってみよう」と思える授業を行えば、進んで算数に取り組む児童が育つであろうと考え、児童が自力で課題を解決できるように研究を進めています。

### ● 藤沢東小学校

主体的に学び合う児童の育成  
～国語科・算数科を軸として～

学びのよさを味わうことができる児童の姿を目指しています。児童自身が学習に興味・関心を持つことができるように、「対話」を取り入れ、考えを持つ、書く、広げることに取り組んでいます。



### ● 向原中学校

自ら学び、心豊かな生徒の育成  
～道徳教育の充実と道徳的  
実践力の醸成～



本校では、全ての教育活動を通じて道徳教育の充実を図ることが、「自ら学び、心豊かな生徒」の育成に繋がると考えています。現在は対話的な学びを軸にした道徳授業の研究を推進しています。

### ● 扇小学校

『楽しい授業』の展開  
～「できて、わかって、活かせる子」を育てる算数科の指導～

つまずきを大切にすることで、「解決の仕方に気づくことができました。わかった。」と、ふりかえりに書く児童が増えました。

まとめ→習熟→ふりかえりを意識した授業計画を立てて、実践することができました。



## 令和2・3年度 研究委嘱校



狭山茶とふれあう(金子中)

### ● 武蔵中学校

落ち着いた学校生活の実現と一  
体化した学力の向上を目指して

通常学級における特別支援教育の視点を授業に取り入れ、誰にでもわかる授業づくりを実践するための研修を行いました。研究授業でのアイデアを共有することで、教師の授業力向上につながりました。



### ● 高倉小学校

児童が互いに認め合い、伸び伸びと自己  
表現できる学級と学びの土台づくり  
～算数科の学習を通して～

本年度より、自分の考えや思いを伝え合う児童の育成を目指して、算数科の学習を通して研究を進めています。

児童が伸び伸びと自分の思いや考えを表現し、お互いに認め合うことができたら、児童の学びはより深まるであろうという仮説のもと、考えを伝え合うための手立てについて、指導法の改善に取り組んでいます。



### ● 金子中学校

豊かな体験活動を通した、全教育活動に  
おける人権教育の展開  
～地域の教育力と連携し、人権感覚を  
醸成する教育活動の工夫～

コロナ感染防止の観点から盆点前等実施できなかった取組もありますが、すべての教育活動の中に、人権教育の視点を取り入れることで計画的・継続的な指導の充実が図れ、学校全体が落ち着きを見せ、生徒に人権感覚を浸透させることができました。





# 入間市

## の子どもたちが大活躍!

### 第88回埼玉県中学校駅伝競争大会

向原中学校

男子 2位 男子代表チーム

女子 9位 女子代表チーム

### 第29回関東中学校駅伝競走大会

向原中学校

男子 13位 男子代表チーム

### 令和2年度埼玉県中学校新人体育大会

西武中学校

男子ソフトテニス

個人戦ベスト32

2年 立花 蓮さん

2年 久下 達也さん

### 五地区少年野球新人戦大会

ノーヒットノーラン賞

仏子小学校

5年 森 幸太郎さん

### 中学生の税についての作文

埼玉県納税貯蓄組合総連合会

優秀賞

豊岡中学校

3年 柴田 菜月さん

3年 関川 恵さん

3年 深澤 若葉さん

向原中学校

3年 小澤 由夏さん



令和2年6月1日  
今年度はここから  
始まった…  
〈高倉小学校  
の入学式〉

# グッド ニュース



### 日本書蒼院 埼玉展 毛筆

県知事賞 黒須中学校

3年 林 公平さん

### 日本書蒼院 埼玉展 硬筆

県知事賞 黒須中学校

2年 山田 葉月さん

### 全国書画展覧会

野田中学校

筆都大賞 3年 橋場 弓子さん

金賞 2年 金城 結愛さん

### 第73回

埼玉県書きぞめ

中央展覧会

県知事賞 仏子小学校

6年 島崎 理央さん

※4年連続の県知事賞

### 「埼玉の建設産業」ポスター・絵画コンクール

埼玉県教育長賞

東金子中学校 2年 栗原 希衣さん

## タブレットQ&A

Q1 どんな時に使うの？

A1 主に授業で使います。通信機能を活用し、先生たちは授業中でも一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能になります。また、学習状況に応じた個別学習が可能になり、家庭学習にも使えます。

Q2 どんなメリットがあるの？

A2 友達の考えがすぐわかります。

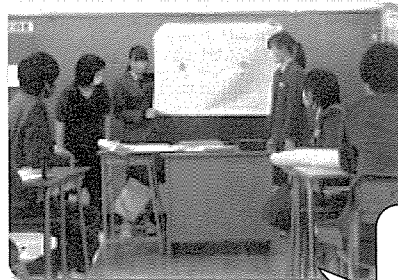
自分に合った学びがしやすくなります。

授業で答えが合っているか不安でみんなの前で発表しづらくても、答えや考えを送信するだけなので授業に参加しやすくなります。

Q3 取り扱いで注意することは？

A3 学習用具ですので丁寧に大切に取扱いください。動

かないなどトラブルがあるときには、学校の先生に相談してください。



### トピック

3年生の生徒自ら、**タブレット利用規則**をつくりました。  
(豊岡中学校)

## 編集後記

本年度は、過去に例のない、「新しい生活様式」の一年となりました。コロナ禍の学校生活は、創意工夫が必要であり、授業も改善しながらの取組が進められてきました。  
令和3年度も「学びと実践があふれるまち」づくりの推進に皆様のご活躍を期待するとともに、教育活動の応援を願っています。

教育広報「いるま」  
編集委員会 委員長 富井 弘